

平成31年度
北海道大学 大学院法学研究科 法律実務専攻
(法科大学院)

入学者選考試験【前期日程】
「小論文試験」問題冊子

試験時間 : 10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
2. 問題冊子は5ページある。
3. 解答用紙は、B4版で、小論文【問題1】（両面印刷）、小論文【問題2】（両面印刷）の2枚である。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出せよ。
5. 受験番号（上下2箇所）および氏名（上1箇所）は、すべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入せよ。
6. 解答は、すべて所定の解答用紙の指定された欄に横書きで記入せよ。
7. 解答は、黒インクのボールペン又は万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）で記入せよ。
8. 必要以外のことを解答用紙に書いてはならない。
9. 問題冊子の余白は下書きに使用してもさしつかえない。
10. 草稿用紙は回収しない。

次の文章を読んで、問題に答えなさい。

(文章省略)

出典：今野真二『日本語の近代』（ちくま新書、2014年）
(但し、出題に際して、文章の一部を省略・変更している。)

問題 1 下線部①について、筆者によれば「常用漢字表」はどのような発想に基づいた整理をしたものであり何故そのように言えるのかを説明し、そのうえで筆者の理解を前提にすると「常用漢字表」はどのような理由でこのような整理を行ったと考えられるか、論じなさい。(700字)

問題 2 下線部②について、筆者がこのような主張をするのは何故か、論じなさい。(700字)